

# 授業科目 教育心理学 II

【担当教員名】 遠山 孝司		対象学年	2	対象学科	健康
		開講時期	前期	必修選択	自由
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	○	
【概要・一般目標：G10】 児童・生徒の発達面、学習面、社会面、進路面における諸問題に対する心理教育的支援サービスを効果的に行うための基本的知識と態度の習得を目的とする。 あわせて、障害児に関する心理学的理解を深めるとともに、障害児の発達を支援するために必要な知識を身につける。 さらに、欲求やストレスについての理解を深めるとともに、教育において他者のQOLを高めるために必要な知識を身につける。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 発達に関する理論、発達障害（障）の諸様相を理解し、児童生徒の発達に応じた指導教育が考えられるようになる					
2. パーソナリティや知能に関する理論を理解し、児童生徒の個人差に応じた指導教育が考えられるようになる					
3. 欲求と動機、ストレスと不安などの諸理論を理解し、児童生徒が自発的に課題に取り組むような指導教育、児童生徒のQOLを高める指導教育が考えられるようになる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	発達の心理学（発達とは）			1	講義と小レポート
2	発達の心理学（発達段階説）			1	講義と小レポート
3	発達の心理学（認知、言語、道徳性の発達）			1	講義と小レポート
4	発達の心理学（発達における個人差と障）			1	講義と小レポート
5	パーソナリティの心理学（パーソナリティの諸理論）			2	講義と小レポート
6	パーソナリティの心理学（パーソナリティの測定）			2	講義と小レポート
7	欲求と動機の心理			3	講義と小レポート
8	ストレスと不安の心理			3	講義と小レポート
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		なし			
参考書		なし			
その他の資料		資料は適宜配布する			
【評価方法】 期末試験（100％）		【履修上の留意点】 履修上の留意点は初回授業時に周知するので必ず参加すること。 教育心理学 I と II をあわせて試験を行うため、同時期に履修すること。 講義内容を単純に覚えるのではなく、講義内容を基に自分自身や自分の身の回りの人間、自分の過去や将来像、人間観などに当てはめて深く考えること、自分が考えた内容を表現できるようになることを求める。			